

国民健康保険事業特別会計	歳入	10億 9万円	△3.6%
	歳出	9億 928万円	△2.8%
老人保健特別会計	歳入	95万円	△84.1%
	歳出	95万円	△84.1%
後期高齢者医療事業特別会計	歳入	1億 316万円	4.5%
	歳出	1億 307万円	4.4%
介護保険事業特別会計	歳入	10億1,038万円	2.7%
	歳出	10億 649万円	4.1%
簡易水道事業特別会計	歳入	3億3,392万円	44.8%
	歳出	3億2,696万円	45.6%
温泉事業特別会計	歳入	9,276万円	382.9%
	歳出	6,383万円	224.1%
いやしの里診療所事業特別会計	歳入	3,394万円	△10.3%
	歳出	3,388万円	△1.8%



川根本町の財政健全性を診断

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成22年度の比率を皆さんにお知らせします。

●各項目の説明

【実質赤字比率】

一般会計など（一般会計、いやしの里診療所会計）の赤字の大きさを示すものです。収入から支出を差し引いた額を※標準財政規模で割り算した数値です。

【連結実質赤字比率】

全ての会計（一般、国保、老保、後期高齢、介護、簡水、温泉、診療所）における町全体の赤字の大きさを示すもの

です。全ての会計の赤字と黒字を合算した額を※標準財政規模で割り算した数値です。

【実質公債費比率】

1年間に町が地方債の返済に負担した額の大きさを示すものです。返済額から普通交付税で国が負担してくれる額は控除されるため、実質的な持ち出し分が算出されます。年間の返済額から普通交付税での額を控除した額を標準財政規模で割り算した数値です。※過去3力年の平均数値を使用します。

【将来負担比率】

町が将来負担すべき額（現時点で支払いが約束されている

のもの）の大きさを示すものです。負担額から普通交付税で国が負担してくれる額、町の基金などを控除した額を標準財政規模で割り算した数値です。

平成22年度は、控除額が負担額を上回ったためゼロとなりました。

【資金不足比率】

町で運営する公営企業（簡易水道事業特別会計、温泉事業特別会計）の資金不足額の事業規模に対する割合を示すものです。

※1標準財政規模とは町が1年間に通常収入される町税や普通交付税などの一般財源。

診断の結果

平成22年度決算は昨年度と同様、国で示す早期健全化基準を大きく下回っています。これらの数値から、川根本町の財政状況は「健全段階」にあると言えます。今後、将来の負担を考え、財政の健全運営に努めていきます。

総務課 ☎（56）2220

平成22年度予算の1年間の主な使いみち



◆議会費 6,151万円
・川根本町議会関係経費に 6,151万円

◆総務費 13億6,128万円
・本庁舎・総合支所の維持管理費 2,621万円
・地区集会所維持管理など 1,258万円
・自治会の振興 2,736万円
・広報かわねほんちょう発行など広報公聴経費 589万円
・町営路線バスの運行 2,073万円
・まちづくり事業費 1,590万円
・長島ダム水源地域振興 2,173万円
・地籍調査事業 2,142万円
・文化会館の運営費 3,389万円
・自然エネルギー活用機器設置補助など環境対策経費 1,381万円
・地デジ対策など情報政策費 5,984万円
・参議院・県議会議員選挙など2つの選挙費 4,003万円

◆民生費 10億4,432万円
・国民健康保険事業特別会計への繰出金 5,742万円
・老人保健特別会計への繰出金 142万円
・介護保険費（繰出金・補助金など） 5,794万円
・後期高齢者医療費（繰出金・負担金など） 1億3,684万円
・障がい者福祉の充実 1億4,515万円
・外出支援など老人福祉サービス 9,925万円
・保育園の運営費 1億7,376万円
・子育て支援対策 2,009万円
・子ども手当 8,303万円

◆衛生費 5億5,007万円
・簡易水道事業特別会計への繰出金 1億3,060万円
・飲料水供給施設の管理・整備 588万円
・合併処理浄化槽補助金など環境衛生の向上 5,670万円
・母子保健・予防・各種健康診断など健康増進 6,543万円
・診療所管理費（医療機器購入など） 2,134万円
・し尿処理 1億1,105万円
・ごみ処理 1億2,205万円

◆労働費 4,722万円
・緊急雇用創出対策 4,722万円

◆農林水産業費 4億4,957万円
・農林業センターの運営費 3,392万円
・農業振興 3,496万円

・農業農村整備事業（県営中山間地域総合整備負担金など） 2,095万円
・林道改良事業 2億2,907万円
・林業振興 5,371万円

◆商工費 3億1,895万円
・商工業振興費 3,790万円
・観光事業 1億1,242万円
・音戯の郷運営費 3,713万円
・茶茗館などの運営費 1,646万円
・ウッドハウスおろくぼ運営費（指定管理委託料含む） 690万円
・温泉事業特別会計への繰出金 8,886万円
・もりのくに運営費（指定管理委託料含む） 977万円

◆土木費 2億9,751万円
・町営住宅の維持管理 6,692万円
・町道の維持・改良事業 1億5,244万円
・河川の改修、維持管理 1,598万円
・急傾斜地崩壊対策事業 1,854万円

◆消防費 3億3,223万円
・常備消防事業費 2億1,349万円
・消防団員の報酬や消防団の設備整備経費 6,361万円
・消防施設整備 2,110万円
・自主防災組織の活動助成など防災事業 3,403万円

◆教育費 4億4,870万円
・通学バスの運営費 2,573万円
・小学校の管理、教育振興 1億1,103万円
・中学校の管理、教育振興 5,513万円
・生涯学習推進のための費用 600万円
・資料館運営費 844万円
・学校給食 8,095万円
・海洋センターの運営費 2,600万円
・社会体育施設の整備、管理費用 1,117万円

◆災害復旧費 7,121万円
・町道、林道の災害復旧 7,121万円

◆公債費 8億4,852万円
・町債の元利償還金 8億4,852万円

※過疎対策事業債など有利な資金を借り入れているため約6億6,764万円が国から支援されています。
注）決算の区分は地方財政状況調査に基づきます。